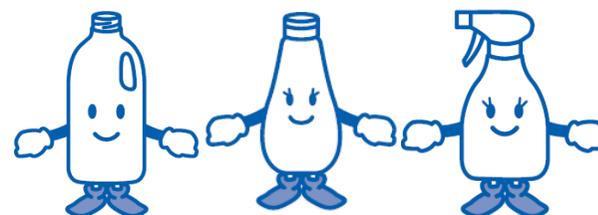


## 第3回川崎臨海部フォーラム パネルディスカッション資料



# メビウスパッケージング株式会社 ～会社紹介・リサイクル実証取組紹介～

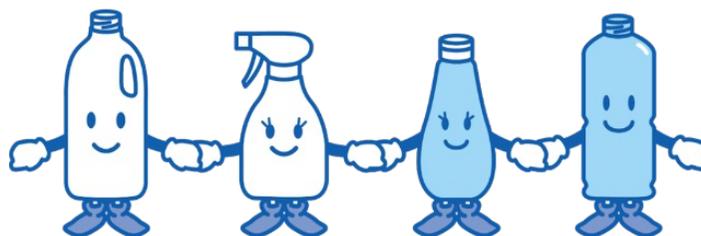
2026年 1月 30日

 **メビウスパッケージング株式会社**

環境部 福岡弘充

## 1. メビウスパッケージング株式会社 会社紹介

## 2. KCDP\_回収したプラスチックのリサイクル実証について



# メビウスパッケージング株式会社 会社概要

## ✓ 東洋製罐グループ

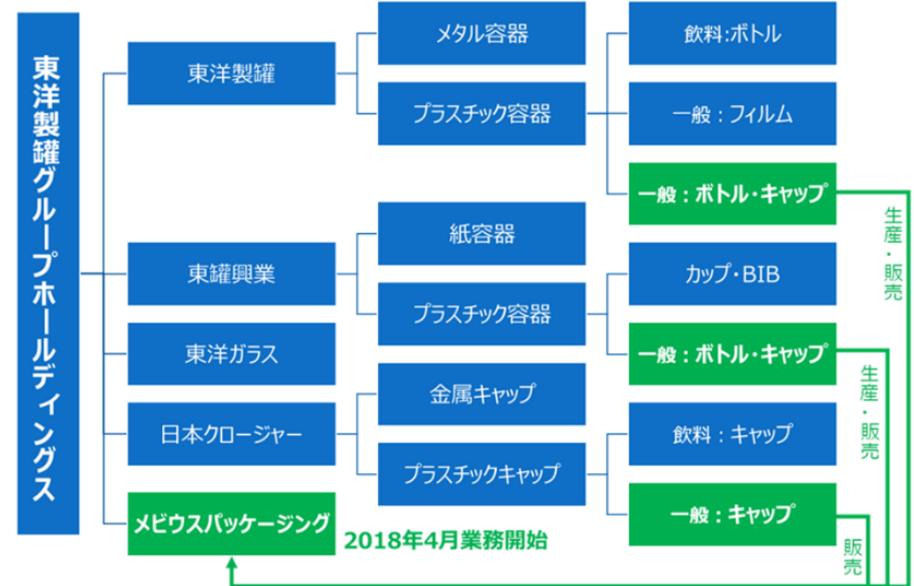
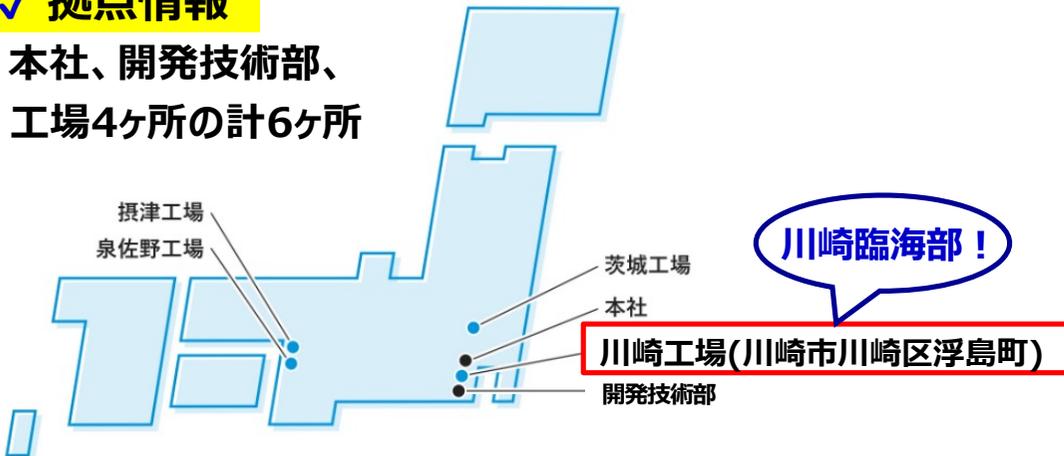
1917年創業の総合容器メーカーグループ。  
東洋製罐グループホールディングス(株)と子会社  
86社、関連会社8社から成る。

## メビウスパッケージング株式会社

事業開始グループ内の3社の事業を統合して2018年に誕生。  
非飲料用途プラスチック容器の製造メーカー。

## ✓ 拠点情報

本社、開発技術部、  
工場4ヶ所の計6ヶ所



## ✓ 製品領域

- 食品
- 生活用品・業務用
- 衛生用品・医療品

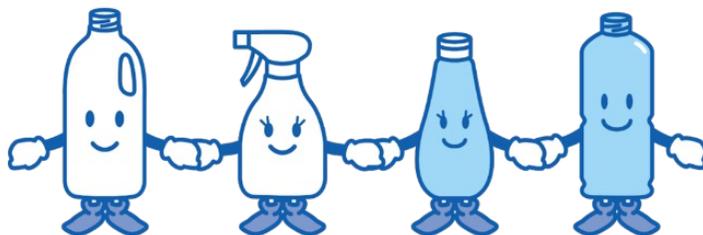


# ■ エコアクションプラン2030 ~わたしたちの環境目標~



エコアクションプラン2030

脱炭素社会の実現に貢献する



資源循環社会の実現に貢献する

・事業活動でのGHG排出量  
生産重量あたり**50%削減**

・サプライチェーンでのGHG排出量  
販売重量あたり**30%削減**

\*GHG: GreenHouse Gas(温室効果ガス)

・リサイクル材・バイオ材（植物由来）  
の使用率を**30%以上**に

・**100%（全て）**の容器包装製品を  
リサイクルまたはリユース可能に

これらの目標の実現に向けて、メビウスパッケージング(株)は日々活動しています。

# ■ メビウスパッケージングの事業活動における環境課題

メビウスパッケージングの活動に関わる  
CO2排出量（2024年度実績）

**製品の廃棄由来（36%）**

に対しては、

**焼却**によって発生するCO2を減らすため

**燃やさ(せ)ない** を目指した

再資源化の仕組み作りに

取り組み中です



**課題**

Scope3 カテゴリ12：  
製品の廃棄由来、  
36%  
(117,200ton - CO2e)

**課題**

**約32万**  
ton-CO2e

Scope1,2：  
生産エネルギー由来、  
14%

Scope3 カテゴリ 1, 12以外、  
9%

**製品・材料の購入由来（41%）**

に対しては、

**リサイクル材、バイオ材**

の採用拡大により、CO2排出量の  
削減に取り組み中です



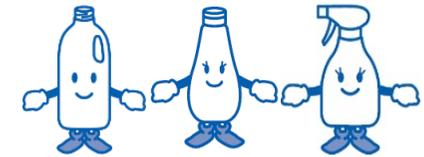
**課題**

Scope3カテゴリ 1：  
製品・材料の購入由来、  
41%  
(133,500 ton - CO2e)

# 資源循環社会の実現～リサイクル材・バイオ材の採用拡大～



リサイクル材・バイオ材適用製品の一例



# ■ 脱炭素社会の実現～プラスチック資源循環の構築による削減



## Kawasaki Circular Design Park (KCDP)

川崎市内で、一般家庭から排出されたプラスチックを**マテリアルリサイクル**し、**日用品ボトル**に利用できるかを検証する実証実験プロジェクト。



### 実証メンバー・役割



#### 【回収・利用・全体調整】

回収した廃プラスチックの提供。  
全体調整、連携拡大に向けた調整



J&T 環境 株式会社



J CIRCULAR SYSTEM

#### 【選別】

製品利用に適したプラスチック  
の選別・再生材の提供



メビウスパッケージング株式会社

#### 【包材製造】

提供を受けた再生材を活用した環境配慮設計、製品への加工、製品評価。

# KaO

きれいをこころに 未来に

#### 【製品製造】

社会実装に向けた製品の安全性評価、事業性の確認、環境配慮設計の検討。

環境配慮設計や  
環境価値等の情報連携



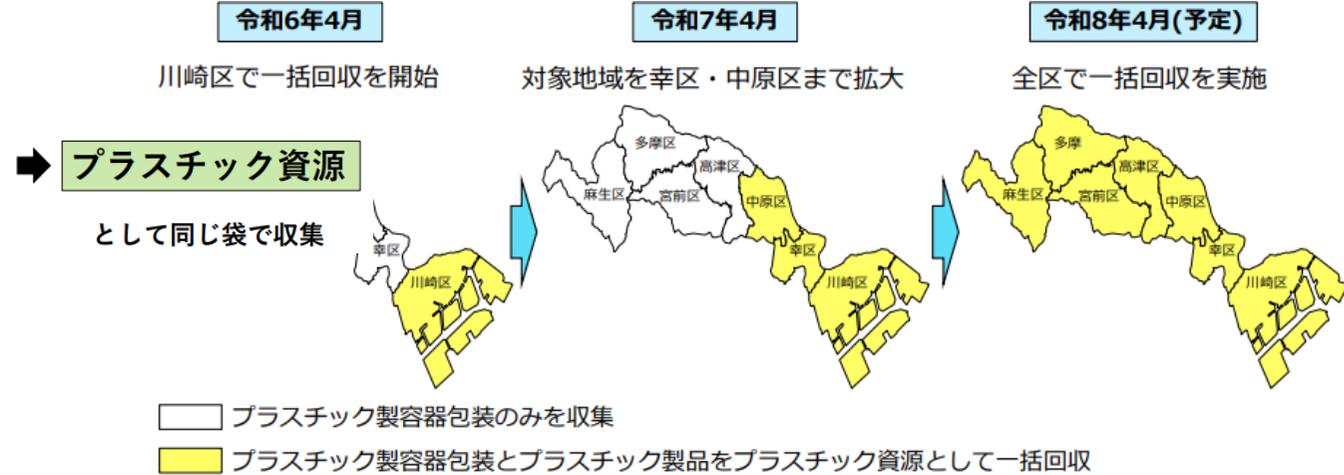
クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス  
Japan Clean Ocean Material Alliance

会員企業の参画による連携拡大

# KCDP\_回収したプラスチックのリサイクル実証（概要）

## 川崎市 プラスチック回収の日

プラスチック容器包装に加えプラスチック製品も令和6年4月から回収開始

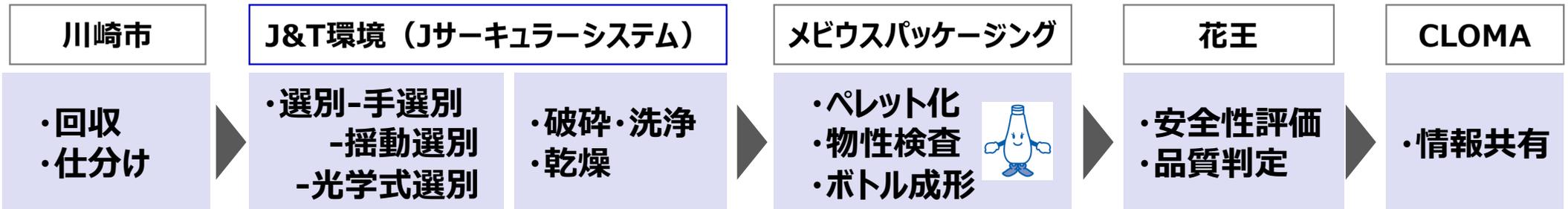


## 実証の目的と流れ

回収されたプラスチックを日用品ボトルに利用可能かの検証

実施済

取組中



# KCDP\_回収したプラスチックのリサイクル実証（選別実証）



## KCDP 選別実証

回収した3tより、プラスチック素材や色調、容器包装プラスチックと製品プラスチックに選別

### <手選別の様子>



### <選別結果>

2025年2月実施

素材	重量	由来	重量	色調	重量
PP (ポリプロピレン)	169kg	容器包装プラ	115kg	白・無色	62kg
				その他色	53kg
		製品プラ	54kg	白・無色	30kg
				その他色	24kg
PE (ポリエチレン)	132kg	容器包装プラ	115kg	白・無色	87kg
				その他色	28kg
		製品プラ	17kg	白・無色	10kg
				その他色	7kg
飲料以外のPET	185kg	容器包装プラ	174kg	白・無色	137kg
				その他色	37kg
		製品プラ	11kg	白・無色	3.5kg
				その他色	7kg
合計	486kg				

# KCDP\_回収したプラスチックのリサイクル実証（選別実証）



## KCDP 選別実証

プラスチックの素材や色調ごとに全 1 2 種類のカテゴリーに選別  
 この中から、ボトル成形に適する材料として、PP（ポリプロピレン）とPE（ポリエチレン）を選定

	PP（ポリプロピレン）		PE（ポリエチレン）		PET	
	白・無色	その他色	白・無色	その他色	白・無色	その他色
容リプラ	 ■ 食品容器類	 ■ 化粧品容器類	 ■ 洗剤容器類	 ■ 洗剤容器類	 ■ 弁当容器類	 ■ ドレッシング類
製品プラ	 ■ 弁当箱類	 ■ カゴ類	 ■ クッション類	 ■ おもちゃ類	 ■ クリアカップ類	 ■ ピルケース類

# KCDP\_回収したプラスチックのリサイクル実証（破碎／洗浄実証）



## KCDP 破碎／洗浄実証

<破碎／洗浄後の重量>

2025年6月実施

<破碎／洗浄の様子>



素材	重量	由来	重量	色調	重量
PP (ポリプロピレン)	146kg	容器包装プラ	99kg	白・無色	55kg
				雑色	44kg
		製品プラ	47kg	白・無色	26kg
				雑色	21kg
PE (ポリエチレン)	113kg	容器包装プラ	99kg	白・無色	73kg
				雑色	26kg
		製品プラ	14kg	白・無色	8kg
				雑色	6kg
合計	259kg				

# KCDP\_回収したプラスチックのリサイクル実証（破碎／洗浄実証）



## KCDP 破碎／洗浄実証

PE（ポリエチレン）及びPP（ポリプロピレン）を破碎洗浄した、粉碎材を作製

	PE（ポリエチレン）	
	白・無色	その他色
容器包装プラ	 ■ 洗剤容器類	 ■ 洗剤容器類
製品プラ	 ■ クッション類	 ■ おもちゃ類

# KCDP\_回収したプラスチックのリサイクル実証（ペレット化実証）



## KCDP ペレット化実証

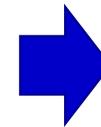
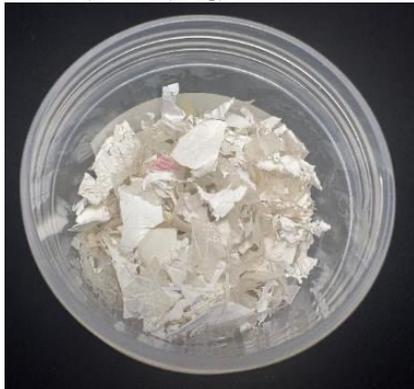
ペレット化 = 成形し易いように、樹脂を粒状にすること



<ペレット化の様子>

<成形したペレット>

<使用した粉碎材>



# KCDP\_回収したプラスチックのリサイクル実証（ボトル成形実証）



2025年10月実施

## KCDP ボトル成形実証

<ボトル成形の様子>



ベース材料	PP（ポリプロピレン）とPE（ポリエチレン）の2種類	
仕様	通常の方法と実証ペレットを混ぜる	実証ペレットを通常の方法でサンドイッチ
材料比率	通常の方法 70% 実証ペレット 30%	通常の方法 70% 実証ペレット 30%



材 料：実証ペレット＝今回の実証実験でペレット化した材料  
 結 果：成形性良好（ボトル臭気 若干あり）  
 ⇒現在、成形したボトルを用いて品質や安全に問題が無いかの評価を実施中

今回の実証実験で得られた結果に対して評価・検証を行うことで、一般家庭から回収されたプラスチックをもう一度、容器に戻せないか！他の用途に使えないか！ということにチャレンジしていきます！  
 ⇒このように皆様が分別して出していただいたプラスチックには、様々な製品に生まれ変わる可能性があります  
 今後もプラスチック回収やリサイクルの取組を一緒に頑張っていきましょう！

## 最後に

**メビウスパッケージング株式会社は、**  
さまざまな自治体様や事業者様、市民の皆様と、共に考え、共に創り出す  
**「共創活動」**を積極的に取り組んでいきます

